



議会だより

今回の題字は、^{まえ}前^だ田^{はな}華 さん（美土里小学校6年生）です。



あふれる笑顔 安芸高田市立小田小学校



郷土理解学習 (梨栽培)



郷土理解学習 (大土山田楽)



地域安全パトロール隊

地域とともに



福祉学習 (老人ホーム訪問)

議会体制 2~3
12月定例会 4~5

常任委員会報告 7~9
第1回臨時会 13

一問一答
6人が**市政を問う** 10~12

あんなこんな
地域のかがやき 16

点

決定!

第6代議長

藤井昌之



H26.11.28~H26.12.15

第7代議長

山本 優



H26.12.15~

協調と連携・各議員の特長を發揮していただき、より良い開かれた議会を目指して議会運営に取り組んでまいります。

今回の議長選挙は、複数回にわたる新聞報道もあり、市民の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。

議会としては、実情をわかりやすく公開する必要があると認識し、臨時会からの一連の流れを報告いたします。

正副議長の2年交代について

このたびの選挙は、左記の「申し合わせ事項」に基づき、臨時会を開催して正副議長を選出しました。

申し合わせ事項

正副議長の任期は2年とする。就任から2年後に辞表を提出し、臨時会を開いて選挙を行う。
(24年12月決定)

臨時会

11月28日開催

議長の辞職許可
塚本議長の辞職願

異議なし

副議長の

辞職許可

金行副議長の辞職願

異議なし

議長選挙

議長立候補者
所信表明会

【立候補者】

山本 優 議員
所信表明を行う

熊高 昌三 議員
所信表明せず

投票者数 18名
有効投票数 18票

藤井議員
10票

山本議員 8票

藤井議員
10票

山本議員 8票

藤井議員
10票

山本議員 8票

藤井議員
10票

山本議員 8票

副議長選挙

副議長立候補者
所信表明会

【立候補者】

金行 哲昭 議員
青原 敏治 議員

両名所信表明を行う

投票者数 18名
有効投票数 18票

青原議員 10票

金行議員 8票

青原議員 10票

金行議員 8票

青原議員 10票

金行議員 8票

青原議員 10票

金行議員 8票

安芸高田市議会正副議長選挙に係る立候補制及び所信表明会実施要領(抜粋)

○立候補制・所信表明会開催目的

正副議長として適任者を選挙するため立候補制を導入し、所信表明の機会を設け、市民にわかりやすい真に開かれた議

会運営を行うことを目的とする。

○立候補及び所信表明の申し出

選挙に立候補する議員は、申出書により期日までに届け出なければならない。

※参考

正副議長選挙の対象者を法的に制限するものではないため、所信表明者以外の議員に対する投票も有効となる。

24年10月15日決定

折り返し 新たな出発 正副議長



副議長
青原敏治

H26.11.28～

市民の多様な意見等、負託に応えられるよう議論を重ね、議会の権能を実現できるように努めます。

異議申立書

12月2日、8名の議員により、藤井議長あてに異議申立書が提出されました。

異議申立書（抜粋）

今回の当選は、本市議会で定めた実施要領に反するものであり、当選決定は無効である。正規の手続きで得票した議員が議長として選ばれるべきである。

民主的で、市民により一層開かれた議会を目指している私達にとって、この投票結果は到底、賛同・妥協出来るものではなく、異議申し立てをするものである。

全員協議会

藤井議長

辞意を表明

12月11日、藤井議長が「異議申立書に應えるのではなく、混乱の收拾を図る」として辞意を表明。12月15日付けで辞職願が提出されました。

定例会

12月15日開催

議長の辞職許可

藤井議長の辞職願

賛成

玉重、前重、石飛、児玉、水戸、先川、穴戸、山本、塚本、金行

反対

玉井、久保、下岡、大下、熊高、秋田

議長選挙

議長立候補者

所信表明会

立候補者

山本 優 議員
熊高昌三 議員
両名所信表明を行う

投票結果

投票者数 18名
有効投票数 14票
無効 4票

山本議員 8票

熊高議員 6票

山本議員当選

議長就任

委員会が新体制になりました

○議会運営委員会

H26.12.4～

委員長 児玉 史則 副委員長 穴戸 邦夫
委員 前重 昌敬 石飛 慶久 大下 正幸 熊高 昌三

※各常任委員会・議会広報特別委員会はそれぞれのページに記載しています。

総合計画

(平成27年から平成36年)

人がつながる田園都市
安芸高田へ!

人が集い育つ
まちづくりへの挑戦

地域資源を活かした
まちづくりへの挑戦

安心して暮らせる
まちづくりへの挑戦

将来像と目指す都市像 概念図

12月定例会

12月定例会を12月9日～22日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計、水道事業会計など11会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託しました。(補正予算審査は6ページに掲載)

各常任委員会では、付託された議案や所管事務調査を実施しました。(各常任委員会の審査は7～9ページに掲載)

本定例会に付議された25議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、6人が市政を問いました。(10～12ページに掲載)

諮問(1件)

○人権擁護委員の推薦

寺川 寿久さん

美土里町横田

承認

(付議された案件)

条例関係8件

(新たな条例制定又は廃止・条例の一部改正)

○議案第77号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○議案第78号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

○議案第79号 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第82号 放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

○議案第83号 介護保険法に基づく指定介護

予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効

第2次 安芸高田市 基本構想 まとまる



本会議の議決風景

議案第79号
議員の期末手当の引き上げ
について

■ 討 論

■ 反対
玉重 今の議会は市民の負託に corresponding しているとはいえない。財政状況からみても、引き上げるべきでない。

■ 採 決

■ 賛成

玉井、久保、前重、児玉、
大下、水戸、宍戸、秋田、
塚本、金行、青原

■ 反対

玉重、下岡、石飛、先川、
熊高、山本

果的な支援の方法に関する基準を定める条例

○ 議案第84号

介護保険法に基づく地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例

○ 議案第85条

国民健康保険条例の一部を改正する条例

○ 議案第86号

保健センター条例の一部を改正する条例

公的財産関係2件

○ 議案第87号

財産の無償譲渡について

〔旧横田診療所(建物)〕

○ 議案第88号

財産の無償貸与について

〔旧横田診療所(土地)〕

事業・予算関係15件

(計画の変更・補正予算)

○ 議案第80号

第2次総合計画構想について

○ 議案第81号

工事請負契約の変更について

(有線放送設備撤去工事)

○ 議案第89号

市道の路線認定について

○ 議案第90号

市道の路線廃止について

○ 議案第91号

一般会計補正予算

○ 議案第92号

特別会計補正予算(9特別会計)

○ 議案第101号

水道事業会計補正予算

可決

一般会計 5億2937万9千円を追加 (総額) 211億899万1千円

議員報酬の調整 災害復旧費の増額 循環型農業推進補助など

26年補正予算

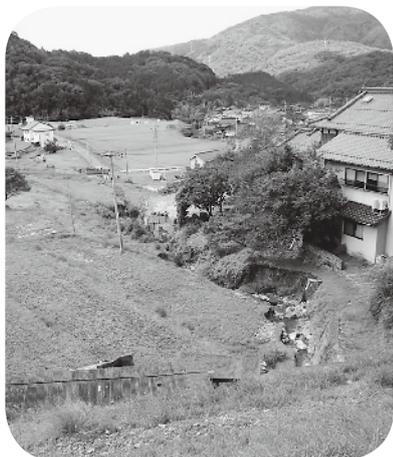
予算決算常任委員会

12月9日の本会議で付託された、26年度一般会計・特別会計補正予算について12月10日に委員会を開き、慎重に審査いたしました。

常任委員会新体制

委員長 金行哲昭
副委員長 秋田雅朝
委員 議長を除く全議員

人事院勧告に伴い、議員報酬を増額
期末手当 107万4千円



8/20 豪雨 八千代町上根 普通河川 土井川災害箇所

主な質疑

建設部

8月豪雨の復旧工事は激甚災害で対応

Q 今回の補正で復旧対応は完了するの
か。
A 8月の豪雨災害は既に工事を発注しており、復旧工事を行っていく。

福祉保健部

ボランテアセンター活動補助金増額

Q 市内の活動内容は。
A 八千代町の家屋内流入の土砂撤去の活動をしていただいた。

産業振興部

堆肥利用に対する助成金増額

Q 土づくり推進事業の対象は特定の団体か。また周知方法は。
A 市内3ヶ所の堆肥センターから2トン以上を購入した方を対象とし、広報等を活用して周知を図りたい。



県堆肥共励会最優秀賞を受賞した高宮堆肥センターの堆肥



高品質堆肥のブランド化を

Q 高品質の堆肥が生産される中で、ブランド性を考慮した取り組みは。
A 良い堆肥で良い作物を作ることが基本で、その観点から関係者、生産組合等で協議していきたい。

財政健全化の取り組み

起債の繰上償還金 3億5832万円

公債費の中で、地方債償還に要する経費として計上されているもので、平成25年度の純繰越金と減債基金を財源としたもの。

ニュージールランド村閉鎖に伴う国庫支払い金等を精算し返還
Q 返還金60万円は、事業主に請求すべきものと考えているが。
A この返還の対象は第3セクター「虹の農場」であり、主たる株主は「市」となっているため、事業主である市が返還することとなっている。

総務企画常任委員会

12月定例会で付託された案件はなく、報告事項1件と所管事務調査1件について12月16日に委員会を開催しました。

(報告事項)

○第3次安芸高田市行政改革大綱について

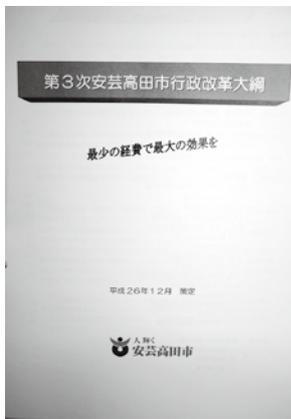
(所管事務調査)

○災害時の情報伝達手段について

常任委員会新体制

- 委員長 石飛慶久
副委員長 玉井直子
委員 水戸眞悟
熊高昌三
藤井昌之
山本優

第3次 安芸高田市 行政改革大綱



第3次行政改革大綱

合併直後の平成17年に第1次の安芸高田市行政改革大綱、また、平成21年に第2次の安芸高田市行政改革大綱を作成し、大綱に基づき実施計画をこの間、不断の取り組みとして進めてきました。今般、第2次の計画期間が今年度で終了することから、平成27年度から平成31年度までの5ヶ年を計画期間とする第3次の行政改革大綱を定めたものです。

災害時の情報伝達手段

■質疑

熊高 災害時に停電した場合の対応については。

行森危機管理課長

停電に対する代替え措置というのとは特別行っていない。

早期の自主避難であったり、自衛隊の派遣要請を行っていく。また、必要最小限のものを整備する必要があれば、今後検討をしていきたい。

藤井 本市において孤立が想定される22の地域に対し、まず年度計画を立てて来年度の予算から機器の整備を進めてはどうか。

沖野副市長 孤立が想定される区域が2日も3日も孤立になるといふ状況はないが、集落を見てみると非常に高齢化が進

んでいる。消防団の装備を充実させて、これに対応して自助・共助・公助の部分をどのように整備し、理解いただくかということに取り組んでいく。

安芸高田市において孤立が想定される地域箇所数

地域	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	計
箇所数	3	3	6	5	1	4	22

※集落の孤立の定義（内閣府の定義による）
地震・風水害に伴う土砂災害などにより、道路交通による外部からのアクセスが途絶し、人の移動・物資の流通が困難となる状態（4輪自動車ではアクセスできない状態）

文教厚生常任委員会

12月定例会で付託された議案3件を、12月17日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

- 介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
- 保健センター条例の一部を改正する条例 他1件

常任委員会新体制

- 委員長 前重昌敬
- 副委員長 久保慶子
- 委員 下岡多美枝
- 委員 児玉史則
- 委員 金行哲昭
- 委員 青原敏治

条例制定後も、これまで同様のサービス基準

国の定める基準

地域包括支援センター
(安芸高田市高齢者支援センター)

指定介護予防支援事業所
(安芸高田市介護予防支援事業所)

国の基準を踏襲
これまでと同様のサービスが受けられます。

安芸高田市が定める基準

地域包括支援センター
(安芸高田市高齢者支援センター)

指定介護予防支援事業所
(安芸高田市介護予防支援事業所)

■概要

厚生労働省令で定められていた指定介護予防支援等の事業の人員や運営・支援方法に関する基準が、地方公共団体の条例に委任されることとなったため制定するもの。

保健センター条例の一部を改正する条例

安芸高田市保健センター

拠点となる各階の構成	3階	障害者基幹相談支援センター
	2階	保健センター こども発達支援センター
	1階	地域包括支援センター

(吉田町常友)

■概要

中央保健センターを、安芸高田市保健センターに改める。
老朽化している八千代保健センター・高宮保健センター・甲田保健センター及び向原保健センターを廃止する。



元八千代保健センター

八千代の施設については、社会福祉協議会八千代支所として今後も活用する。



元甲田保健センター

甲田の施設については、シルバー人材センター・甲田支所と甲立小学校児童クラブが今後も活用する。

産業建設常任委員会

12月定例会で付託された議案2件を、12月18日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

- 市道の路線認定について
- 市道の路線廃止について

(報告事項)

- 道の駅について
ほか

常任委員会新体制

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 大下正幸 |
| 副委員長 | 秋田雅朝 |
| 委員 | 玉重輝吉 |
| | 先川和幸 |
| | 穴戸邦夫 |
| | 塚本近 |

市道3路線認定

- ① 小学校西原線支線 (吉田町山手) 延長 L=250m
- ② 新竹1号線 (向原町戸島) 延長 L=97m
- ③ 新竹2号線 (向原町戸島) 延長 L=145m

概要

「小学校西原線支線」は、既設の市道「小学校西原線」の支線として、新設予定の「道の駅」への連絡道としての機能を有する路線。

「新竹1号線」「新竹2号線」は、地域高規格道路「東広島高田道路」正力工区の事業により、市道の付け替えが必要となった道路。

質疑

先川 新竹1号線の供用開始はいつごろになるのか。

聖川建設管理係長

議会で承認・可決された後、告示を行い、告示の日から供用開始を行う。

概要

地域高規格道路「東広島高田道路」正力工区の事業に伴い、市道を廃止するもの。

市道の路線廃止

市道新竹線 (向原町戸島)

延長 L=234.4m

道の駅 整備コンセプト決定!

【やさしさと安心の交流拠点 道の駅 (仮称) あきたかた】

- 人にやさしい道の駅
- 環境にやさしい道の駅
- 災害時に機能を発揮する道の駅



幅広・ノーバックの「楽々パーキング」



EV車充電設備の設置



防災設備の設置 (災害時便所)

市政を問う

地方創生

「まち・ひと・しごと」創生法成立 考えは

市長／期待できる



宍戸 邦夫
(無所属)

宍戸 「まち・ひと・しごと」創生法が成立した。考えは。
市長 企業創業の活性化などがあり期待できる。

宍戸 農業は地域創生に大きくかわり



安芸高田市での“働き方”を考えよう！
課題解決グループワーク 2014.12.13 (土)
(安芸高田市クリスタルアージュにて)

がある。若者担い手に対する支援策は。

市長 国の支援制度をはじめ、JAと連携した独自の事業を準備している。今後とも意欲ある若い農業者の育成に努める。

宍戸 農業青年等による地域創生会議(仮称)を設立し、

新たなまちづくりに向け若者とともに研究する機会を設けては。

市長 地域の活性化を図るためには若い世代の意見は重要。今後、若者の意見が市の農業施策や定住策などにも反映されるよう機会の拡充を検討したい。

地域創生

市長の考えが見えてこないが

市長／総合計画において具体化する



熊高 昌三
(未来創生会)

熊高 国は地域創生について法律を定めた。そのことについて市広報第75回市長コラムに述べておられるが、本市の具体的施策が見えてこない。市長の考えは。

市長 私にも国の政策が見えない。政策論はあるが、具体論は誰もわかっていない。本市の宝をつか

い独自のことで30年後沈没しないようなものをつくりたい。今はよくわからない

が、これから勉強する。基本的には農業を基軸とした雇用創出をはじめ様々な施策展開を通して次世代を確保するよう、総合計画において具体化したい。

熊高 雇用創出のため6次産業化へもつと力をいれては。

市長 言うのは簡単だが、よい事例が少なく慎重にならざるを得ない。



6次産業化が拡大している三矢えびす茶

一問一答

6人が

石飛 第一次光ネットワーク施設整備の活用事業募集の結果は。
市長 予想を大きく上回り、8件の応募があった。

石飛 本市のネット

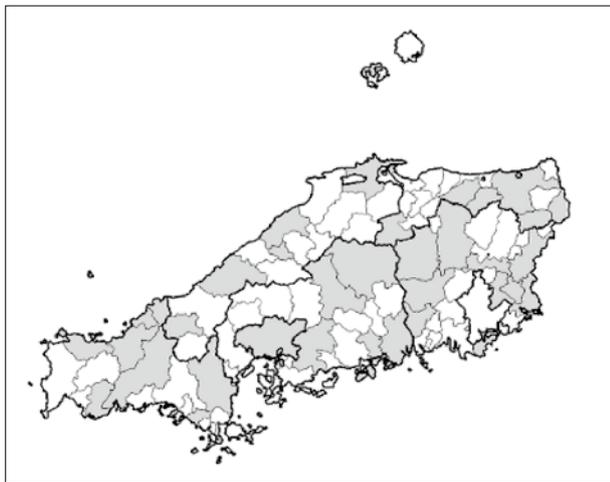


石飛 慶久
(無所属)

付加価値を付ける 整備を

ネットによる
行政サービス

市長／調査研究をしたい



総務省ホームページより一部抜粋
(平成26年9月末現在)

自治体の公衆無線LANの整備状況（灰色が整備済み）

- 県内で整備済の自治体
- 広島市
 - 尾道市
 - 福山市
 - 三次市
 - 庄原市
 - 東広島市

石飛 ネット環境に
 環境をどのように捉えられているか。
市長 全域を網羅しており加入率も高い。有線の代替・広報としての使用のみならず、福祉分野等行政サービスとして有効利用の検討を継続する。

付加価値を付ける公衆無線LAN・可搬型無線システムの必要性は。
市長 費用対効果など調査研究をしたい。また、地方創生に結び付けば理論展開したい。

（その他の質問）

○若者定住について

市長 スポーツの振興は、高齢者に限らず、健康や生きがいづくりの観点から重要性の高まりは認識している。高齢の方が、経験を生かし、やりがいや生きがいを持たれることは、他の高齢者に



元気な高齢者支援策の一つ
“ふれあいサロン”

久保 昔取った杵柄で、スポーツに心得のある元気な方が、その能力を生かすことのできる仕組みづくりの考えは。

市長 スポーツの振興は、高齢者に限らず、健康や生きがいづくりの観点から重要性の高まりは認識している。高齢の方が、経験を生かし、やりがいや生きがいを持たれることは、他の高齢者に

とつても、加齢に伴う体力の衰えを遅らせるとともに、生きる限り張り合いや目標にもつながり、元気な人生の実現に必要不可欠である。どんな年齢の人にも楽しめるスポーツの普及促進と、楽しく体を動かす仕組みづくりの指導者の発掘と育成に取り組みたい。



久保 慶子
(未来創生会)

元気な高齢者支援策

スポーツを通じた健康づくりの考えは

市長／楽しく体を動かす仕組みづくりは大切なこと

通学路

通学路合同点検後の 対策は

教育長／子供達の交通安全の
徹底を期していきたい



大下 正幸
(未来創生会)

出来ないのか。
教育長 通学路の交通安全の確保に向けて、道路管理者を含

めた関係機関と合同で、「通学路安全推進会議」を開催し、交通安全プログラムを策定し、会議においてどの箇所をどこが担当して対策を立てるか明確になったので、子供達の交通安全の徹底を期していきたい。

大下 11月10日と21日に安芸高田市内6町の通学路点検を、国・県・市(学校・PTA等関係者20数名)で危険箇所点検をした後、保護者の方から強く要望されました。
点検後の対応と対策を伺う。
危険な道路を横断するための横断歩道の設置、せまい箇所の歩道の区画、通学時間帯の車両通行止め、これらの対策は



保護者同伴での狭い通学路の点検 (甲田町)

膨らむ事業費の理由は

道の駅 市長／機能の拡充によるもの



児玉 史則
(絆)

児玉 事業費が、平成24年度計画は5億円、25年度は6億5千万円、26年度は9億4千万円と拡大している。その理由は。
市長 産直市の建て替え、駐車場の整



道の駅 (仮称) あきたかた施設案

備、防災施設の設置で、必要な面積が11,800㎡から15,000㎡に拡大したため。
児玉 初期投資額、ランニングコスト、投資効果が明確になった上で、市民に情報提供し、実施の必要性、実施規模等判断する手順が必要では。

お知らせするよう努力する。
児玉 光ファイバーを活用し起業家を育てる支援が遅れている。その認識は。
市長 制度化はまだしていないが、税制の優遇等も含め、定住を踏まえた仕組みづくりを早めにつけていく。

副市長に沖野文雄氏同意 全議員異議なし！



沖野 文雄 副市長（向原町有留）

市長をお助けし、安芸高田市の利益のために全力を尽くします。
（任期：H26.11.28～H30.11.27）

第1回臨時会

11月28日に第1回臨時会を開き、同意1件、承認1件、議案1件の他、正副議長選挙、常任委員・議会運営委員・議会広報特別委員の選任を行いました。
また、広島県後期高齢者医療広域連合組合議会議員・芸北広域環境施設組合議会議員の選挙を行いました。

副市長選任同意について

6月定例会において、賛成4人、反対13人で不同意となり、副市長空席となっていました。今臨時会で、「選任の同意に異議なし」と認め、沖野文雄副市長の選任同意案を可決しました。

衆議院選挙に要する経費を専決処分

12月14日に投開票された衆議院議員選挙費用の補正予算を承認しました。

選挙費補正額

県からの委託金
2277万4千円

主な内訳

- 一般職員人件費 1113万7千円
- 選挙管理委員等報酬 323万8千円
- ポスター掲示板設置撤去委託料 385万6千円
- 会場借上料 25万円



佐々部診療所建設予定地

佐々部診療所 公有財産無償貸付 契約を可決

貸付期間
平成26年12月1日
から30年間

貸付する公有財産
安芸高田市役所高宮
支所駐車場の一部

貸付面積
診療所部分
482.33㎡

貸付理由
診療所の新築移転用
地として無償貸付す
るため

借受人
医療法人
佐々部診療所
理事長 中田裕子

25年度決算を認定

繰越金の減少で市町の負担が増加

26年12月25日、芸北広域環境施設組合議会の定例会が北広島町で開催されました。
25年度決算の歳入総額5億8569万円、歳出総額5億3844万円を認定しました。

(主な歳入)

市町負担金
○安芸高田市

2億4853万円

(前年比)

1016万円増

○北広島町

1億3615万円

(前年比)

470万円増

繰越金

5253万円

(前年比)

1696万円減

雑入

(資源化物売却代他)

1667万円

(主な歳出)

基金積立金

2405万円

衛生費(ごみ処理費)

4億7496万円

監査委員意見

(抜粋)

ごみ処理施設の老朽化に伴う、今後の基本的方向性についての検討が必要。
日曜開場での持ち込み件数が増加しているが、収集か持ち込みの促進かの判断も必要では。

主な質疑

Q 日曜開場の効果は。
A 導入時に費用対効果を検証し、経費よりも住民の方への効果が大きいということを実施しています。

Q ごみの減量化に取組まれているが、市町の取組みは。
A 減量化に向けたアクションプランを策定予定。安芸高田市では「生ごみひとしほり運動」を展開されており、北広島町では「集団回収の助成」を強化されています。



年末の混雑するきれいセンター搬入風景
(日曜開場の更なる利用を)

ごみの処理にかかった経費

区分	可燃ごみ	不燃ごみ等	粗大ごみ
1kg当たり経費	29.08円	108.73円	
1袋当たり平均重量	5.1kg	7.5kg	12.0kg
1袋当たり経費	148円	815円	1,305円
受益者負担額	65円	100円	400円
市町負担額	83円	715円	905円

※粗大ごみの1袋当たり処理経費が増加(対前年比272円増)



古着の売却(リサイクル)を実施(25年度新規事業)



組合議員が
変わりました
組合議会議員

山本 慶久
石飛 雅朝
秋田 正幸
大下 邦夫
穴戸 邦夫

議会のうごき 26年10月～12月の議会の活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
10	2・3・8・14		議会広報特別委員会	議会だより43号の編集・校正
	7	火	議会運営委員会	議会報告会まとめ、議会基本条例
	17	金	議会広報特別委員会	議会広報の発行について
	20	月	全員協議会	議会基本条例について 他
	27	月	北部ブロック議員研修会	講演「人口減少を見据えた自治体経営」
	30	木	議会運営委員会	議会報告会の検証、議会基本条例 他
11	4	火	全員協議会	第2次総合計画基本構想（素案） 他
	12	水	議会運営委員会	第4回定例会、第1回臨時会の運営 他
	20	木	全員協議会	臨時会の運営方法について 他
	25	火	議会運営委員会	臨時会の運営について 他
	28	金	第1回臨時会	副市長の選任同意、正副議長選挙 他
12	2・4		議会運営委員会	第4回定例会の運営について 他
	8・19		議会広報特別委員会	議会だより第44号の編集
	9	火	第4回定例会（開会）	議案の上程
	10	水	予算決算常任委員会	補正予算の審査
	11	木	第4回定例会（一般質問）	質問者6名
	11	木	全員協議会	議長の辞意表明
	12	金	議会運営委員会	第4回定例会の追加案件について
	15	月	第4回定例会（追加日程）	議長の辞職許可、議長選挙 ほか
	16	火	総務企画常任委員会	所管する事務の調査、市長報告
	17	水	文教厚生常任委員会	議案の審査、市長報告
	18	木	産業建設常任委員会	議案の審査、市長報告
	22	月	第4回定例会（最終日）	委員長報告、採決
	22	月	全員協議会	市長報告、議長報告等

■27年第1回定例会は2月下旬～3月中旬の期間に開催を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

議会改革の推進

議員間討議を導入

平成26年11月4日
全員協議会で決定

目的 市政を取り巻く環境は非常に厳しく、様々な諸課題が数多くあることから、市議会として市民の負託にこたえていくために、議員自らの資質の向上と議員間における共通認識の醸成に努めていくため、全員協議会において「討議の場」をつくり、議題に対する議員間の認識を深める「議員間討議」を行うことに決定いたしました。

※議題は全議員から提案できる

地域のかがやき

吉田 大晦日の清神社



雪の中新年を待つ参拝者

八千代 小中学生による人権標語の発表会



八千代心耕祭 (11月7日)

美土里 がんばったね 最後の発表会



ひまわり保育所 (11月29日)

高宮 こだわりの餅で地域交流 こだわり米研究会指導の食農教育



上羽佐竹ふれあいミニサロンと
船佐小児童 (12月10日)

甲田 恒例の門松づくり



(新しい年に向けて) 小原振興会

向原 冬の風物詩



丸山公園展望台のイルミネーション
(12月1日~1月下旬)

編集後記

昨年、国では衆議院解散、選挙、本市では正副議長選挙等大きな動きがありました。また各委員会構成も変更があり、新たな体制で出発しています。

議会広報委員も3名の交代があり、全員で協力し、広報づくりを進めました。

「議会だより」も合併以来44号の発刊となり、改めて歴史の重さを強く感じているところです。諸先輩のご尽力により、議会の様々な情報を市民の皆様によりわかりやすく伝達する広報誌として、役割を果たして来られたことを胸に、紙面を守りつつ新たな発想も取り入れながら、「議会だより」づくりに専念したいと考えています。

市民の皆様には、地域の行事等、またお気づきの点等、お寄せいただければ幸いです。どうかよろしくお願致します。

〈発行責任者〉

議長 山本 優

副委員長 秋田 雅朝
委員 久保 慶子
委員 玉重 輝吉
委員 玉井 直子

下岡多美枝
藤井 昌之